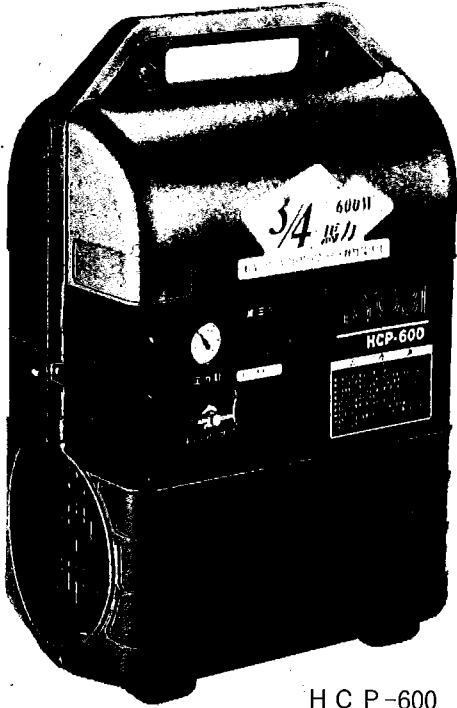


RYOBI

エアコンプレッサー オイルレスタイプ

HCP-600・HCP-800
取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上、ご使用くださるようお願いいたします。



HCP-600



HCP-800

●現品の確認

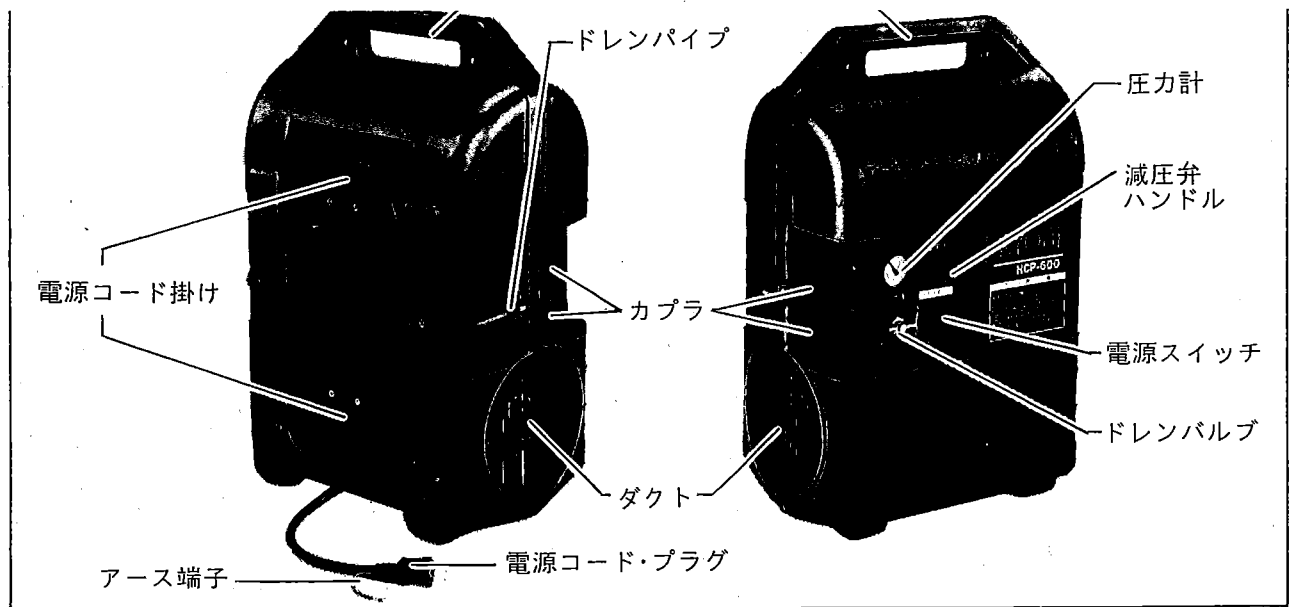
- ご注文通りの機械ですか。50Hz、60Hz の区分はダンボールケースとパッケージ背面の銘板に表示してあります。
- 輸送中の破損、変形及び部品の紛失などはありませんか。必ず確認してください。

●仕様

形 式		HCP-600		HCP-800	
電動機出力	W	600		750	
電 源	V	単相100			
周 波 数	Hz	50	60	50	60
回 転 数	r Pm	1,420	1,710	1,410	1,710
最 高 圧 力	kg/cm ²	9.0			
制 御 圧 力	kg/cm ²	(ON)7.0-(OFF)9.0			
吐出し空気量	ℓ / min	67		83	
外 形 寸 法	mm	546×360×242			
重 量	kg	23		25	
空気タンク容量	ℓ	5			
空気取出口		カップラ(クイックジョイント)2個			
電源コード長さ	m	2			

●各部の名称

— グリップ —



●ご使用に当たりますての注意事項

本機を使用する前に十分に読み、ご理解いただきますようお願いいたします。

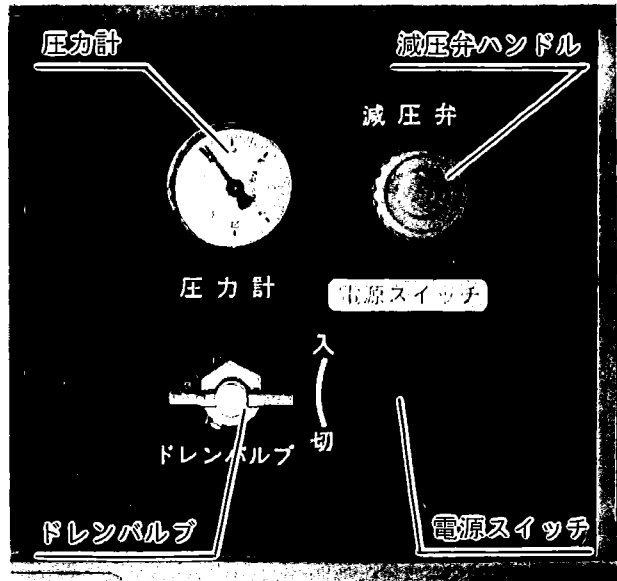
- ①本機は下記の場所にての使用をさけてください。
 - a. 揮発性可燃物（シンナー・ガソリン等）、腐蝕性ガスのある場所
 - b. ぬれた場所、湿気の高い場所、直接雨のかかる場所
 - c. 直射日光の当たる場所、周囲温度が40℃以上になる場所
 - d. ゴミ、ホコリの多い場所
- ②床面が硬く水平なところで、計器面を上にして使用してください。
また、高所（屋根など）で使用する場合は、必ず落下防止（グリップをロープ等で固定）をしてください。
- ③ダクト（吸気・排気口）をふさぐ状態での使用はしないでください。
パッケージ内部温度が上がり、製品寿命を低下させます。
- ④運転時は必ずアースをとってください。
- ⑤電源コードプラグを単相100V以外の電源コンセントにさし込まないでください。
特に電源電圧は、電源コードプラグの位置で100V±10Vの範囲で使用してください。
- ⑥電源に延長コードを使用する場合は、容量15A以上で30m以下のものを使用してください。容量が小さく長いコードは電圧降下が大きく電動機の負荷を増大させ起動性などを低下させます。
- ⑦供給側電源のヒューズは15A以上のものを使用してください。
- ⑧運転時の注意
 - a. 電動機には焼損保護の自動復帰形のサーマルプロテクタを内蔵しています。
高温状態や低電圧での使用については、プロテクタの働きで機械が停止する場合があります。プロテクタは、しばらくすると自動的に復帰しますが、原因を取り除かないまま使用を続けるとたびたびプロテクタが働き電動機に悪影響を与えます。
 - b. 吸気口内側にはファンが回転しています。指・棒等をさしこまないでください。
- ⑨運搬、取扱い上の注意
製品は大事に取扱ってください。誤って落としたり、ぶついたりした場合には変形や破損を生じることがあります。電源コードをむりに引っ張りますと断線やショートの原因となります。
- ⑩安全で効率よい作業をしていただく為には、作業前後の確認と定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売営業所にお問い合わせください。

●電源スイッチ

- 本機は手動スイッチ付圧力開閉器を採用しています。

スイッチONの状態ですタンク内の圧力が 9 kg/cm^2 になると自動的にモーターの電源は切れ、 7 kg/cm^2 まで下ると再起動します。

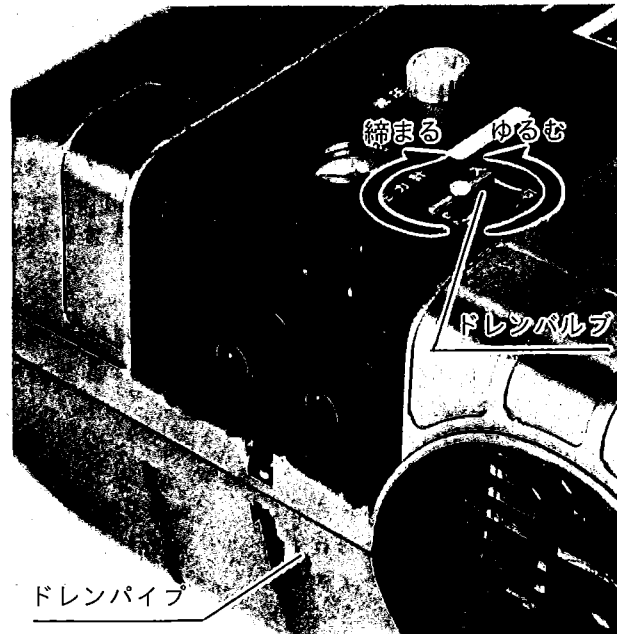
(注意)モーターの起動停止は手動スイッチにより行なって下さい。スイッチONの状態です電源コードプラグによる起動、停止はしないでください。



●ドレンバルブ

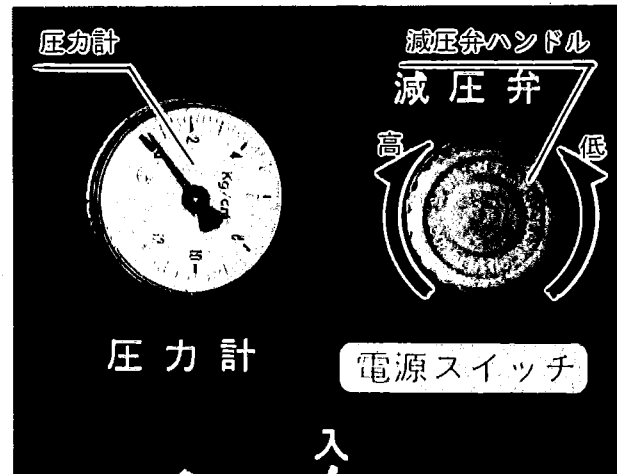
- ドレンバルブは左に回すとゆるみ、右に回すと締ります。
- 運転中は右にいっぱい回し、ドレンバルブを全閉状態にしてください。
- 使用後はドレンバルブをゆるめ、空気タンク内の圧縮空気、水を排出してください。

(注意)水抜きをしないと、タンク内に錆が発生し、故障の原因となります。使用後は必ず水抜きをしてください。



●減圧弁、圧力計

- 減圧弁は、吐出し空気の圧力を調整します。
- 圧力計は、減圧弁で調整された吐出し空気の圧力を表示します。
- 圧力の調整は、減圧弁の赤いハンドルを上引き上げ、右に回すと圧力は高く、左に回すと低くなります。ハンドルは、押し込むとロックがかかります。



●安全弁

- 本機には、危険防止の為に圧力を逃がす安全弁が内部についています。
(圧力開閉器の故障等によりタンク内の圧力が異常に高くなった場合圧力を逃がす。)

●点検と保守

- ①ご使用後は必ずドレンバルブをゆるめて水抜きをしてください。
- ②月に1度、樹脂パッケージのボルト・ナットのゆるみの有無を確認してください。
- ③運転中次のような異常がありましたら、運転を中止し、お買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売各営業所にお問い合わせください。
 - a. 電源スイッチを入にしても圧縮機が運転しない。
 - b. 運転はしているが、圧力が上昇しない。圧力の上昇が極端に遅い。
 - c. 運転中に異常振動、異常音がする。
 - d. 空気もれがする。
 - e. 圧力開閉器が作動せず、安全弁が作動する。
- ④整備点検、部品交換の際には電源スイッチを切にし、電源コードプラグを電源コンセントより外してください。

●ご使用方法

- ご使用になるときは、次の手順で行ってください。
- ①電源スイッチが切になっていることを確認し、電源コードプラグを電源コンセントに接続します。アースも確実に接続してください。
 - ②ドレンバルブを全開にして電源スイッチを入にします。
ドレンパイプから空気の出ることを確認してください。
 - ③ドレンバルブを全閉にします。
空気タンクの圧力が上昇し自動的に機械が停止することを確認します。
 - ④減圧弁を回し、吐出し圧力を使用する圧力に調整します。
 - ⑤減圧弁の調整が終わりましたらキャブラに使用器具を接続し、作業を始めてください。
 - ⑥使用後は電源スイッチを切にし、電源プラグを電源コンセントから外します。
 - ⑦ドレンバルブをゆるめ、タンク内の圧縮空気と水を抜きます。
 - ⑧電源コードは、パッケージ背面のコード掛けにきちんと収納してください。

発売元



リョービ販売株式会社



リョービ株式会社